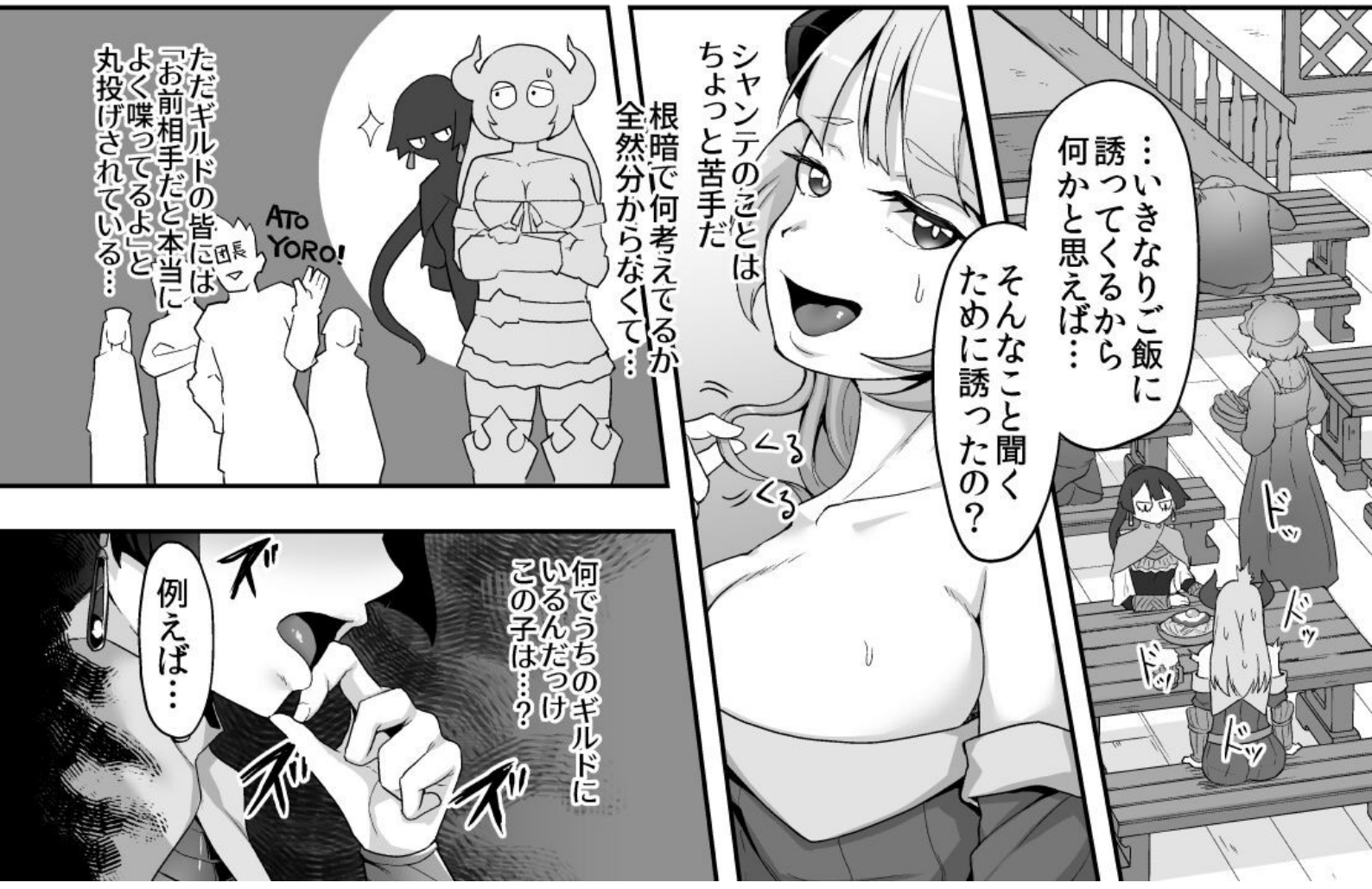
私は鉄槌の戦士
ベルマリア
自慢じゃないけど
力では誰にも
負けないと思うよ
ベルマリアに
続け！
団長遅えっす
でも決して
無敗じゃない
るせえ！
あいつが前に
出過ぎだよ!!

駆け出しの頃…
不意打ちに対処
出来ず負けた
捕まった私は
凌辱の限りを
尽くされた
もう…やめろ…
穴という穴が
全て汚され…
魔物の吐き出した精で
満たされてしまった

負けたくない
折れたくない
こんなところで
終わりたくない
ブル
フッ
フッ
フッ
ピクッ
ギュラッ…
魔物の慰み物となる
日々を耐え続け…
いつか逃げ出す日の
ことを思い続けた
魔物共のスキを
見て逃げ出せたのは
それから一年後
同じ土地にはいられず
新しい場所で私は
戦士として再起した…
あっ
しかし…
やっ
やだ
はなして

ばんばんっ!!
未だに悪夢にうなされる
オバアッ
悪夢…
はぁ…
ここ夢ここ
悪夢のはずなのに…
ピクッ
ふぅっ
あっ
ビクッ
ふぅっ
やめてっ
ぎゅうっ
んっ
クリクリ
いじめないでっ
やだよっ
クリっ
ビクッ
イくっ
ビクンッ
やだっ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
もうやっ
やめ
なさ
私は再起できたはずなのに
私の身体だけが何故か悪夢の続きを期待しているのだ
破滅的な凌辱の続きを…

ベルマリア
貴女…魔物に何かトラウマでもあるの？
ザワ
ザワ
ザワ
シャンテ
異国の魔術師
ドキーン
なっ
なっなな何をお!?


…いきなりご飯に誘ってくるから何かと思えば…
そんなこと聞くために誘ったの？
くるくる
ドッ
ドッ
ドッ
ドッ
シャンテのことはちょっと苦手だ
根暗で何考えてるか全然分からなくて…
ただギルドの皆には「お前相手だと本当によく喋ってるよ」と丸投げされている…
団長
ATO YORO!
何でうちのギルドにいるんだっけこの子は…？
ズ
ズ
ズ
例えば…

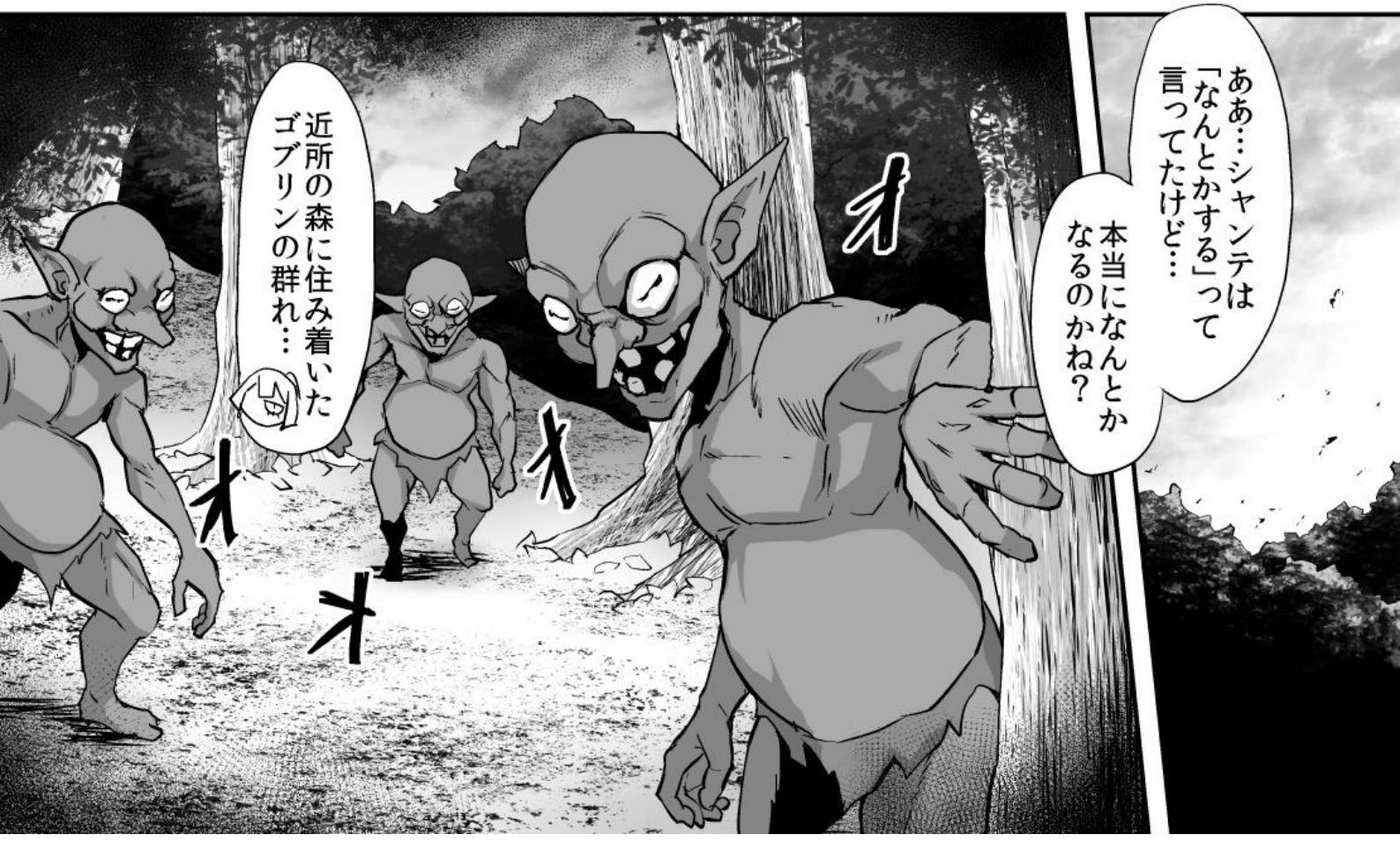
…ぐちゃぐちゃに掻き回されて…
泣いても叫んでもやめてもらえなくて
心が壊れそうなのを必死で耐え忍んで…
ぐちゅ
ぶちゅっ
ドロッ…
でも身体が忘れてない力づくで組み伏せられ犯された快感が…
フラッ
ドッ
そんなっ…こと…ない…
びくっ
魔物に敗けて犯されたとか？
…だったら何!?言いふらす気!?何が目的なの！

たまにいるのよ
恐怖の記憶を克服しようと
別の感情に置き換える人が
やけに露出した服だって
「私は平気」って自分に
言い聞かせるためよね
あむ
ガバッ
なあっ!?
あっ……
じっ…
アンタの服だって
人のこと言えるの
……
……
いや…私のは
魔術的な意味が
あって必要な
軽装よ……
好きで全身タイツなわけないでしょ
むぐ
むぐ
少し前の
戦いのこと
覚えてるよね
貴女は恐らく余計な
妄想で判断が遅れた
逃げろ
隅々まれ
汚され
嫌だ!
嫌だ…?
もしこれに
当たったら
どうなるの
余裕
犯される
あの時から
乳首が弱い
助けて!
きっとまた
捕まって…
悲鳴を誰にも
聞いてもらえず
私の心と身体は
グチャグチャに
期待?している?
胸は駄目
や馬鹿
全部駄目
ってば
集中しろ
集中しろ

貴女の意識が散漫になっていたことは皆が気付いていた
悪あがきで投げつけられた棍棒を貴女はあわてて全力で弾いた
弾いた棍棒の行き先にまで気が回らず…
よりにもよって療術師に直撃
依頼を放棄して逃走せざるを得なかった
メンバーの一部からは「ベルマリアの除名」という声も上がっている
皆分かっているのよ次はケガじゃ済まない
それも…貴女以外の誰かが
それを私が何とか出来るって言ったらどうする？
チャラ…

ほ…本当に？
なぜ嘘をつく必要があるの？
私たちは……仲間よね…？
ズ
ズ
ズ
ズ

あれ？ベルマリアとシャンテは？
2人で朝早く討伐依頼受けて出かけてったよ
すごい簡単な依頼だったけど


ああ…シャンテは「なんとかする」って言ってたけど…
本当になんとかなるのかね？
近所の森に住み着いたゴブリンの群れ…
オ
オ
オ

この程度の相手…
貴女なら目をつぶってても勝てるわよね
当然ッ！素手でも余裕だよ！
ガッ
では試してみましょう
あえ？
おっ!?
ガクン！
バチッ
ガシャッ
0:05:D

何これ…急に力が弱く…
ブル
ブル
それじゃあ頑張って退治してね
スゥ
バッ
ちょっと!?これってどういう…
バリ
バリ
がっ!?
ベちゃ

ダメッ
引っ張ったら…
ああっおっぱい
見えちゃっ…
なんでっおかしいッ
こんな相手に私ッ…!?
シャンテッ
シャンテどこ!?
ホントにヤバい
からあっ!!
ああっ!?

ビキッ
グッグッ
押し返せ…なぁあ…ッ
へにゃ
ぷるっ
ぷるっ
ギチチ
シャンテ助けてっ！見てるんでしょ!?
ホントに犯され…あっ♥
ヤっ♥
おあっ♥
ピク
ピク
んくぅ♥
ブルッ
ずぷんっ♥
ビクンッ

本気で押してるのに全然びくともしない
パンッ
パンッ
パンッ
グッ
全力で抗っても…敵わない…
これじゃ昔と一緒だよ…
はなせっ
動くなぁっ
ビクッ
プルンッ
なのにどうして
ぐっ
ほじっ
ぎゅうう
ビクンッ
ひゃあっ♥乳首だめっ
ああっ乳首出ちゃう…
がプッ
ぶるっ
ぶるっ
ぐにっ
ぎゅっ
どうして…
ぐちゅっ
乳首だめなのぉ…♥
ビクビクするぅ…♥
ぐちゅっ

ハアッ
グッ
ハアッ
こんなの私じゃない
絶対に間違ってる
間違ってるのに…
ズル
フーッ
フーッ
ズル
フーッ
身体だけが
「気持ちいい」って
跳ねちゃってるの
ガク
ビクッ
ビクッ
ビクンッ
ガク
ガク
ビクッ
ビクッ
ビクンッ
ぴゅっ♥
ぴゅっ♥
ぴゅっ♥

否定すればする程抗えば抗っただけ
ズルッ
ズルルッ
アアアアッ
離してぇんッ
ズルッ
身体がビクビクしてどうしようもなく気持ちいいんだもん…
うぐぅっ!?
グイッ
私は…敗けて犯されるのが好きな救い難い変態だって…
グポッ
んぼっ!?
ズブッ
ズッ
ぐむっ
ズポッ
おぇっ
ぷるんっ
たぷっ
認めなきゃダメなの…？
パッ
パッ
パッ

そんなの惨めすぎるよ…
もう離してっ!!
…あれ?

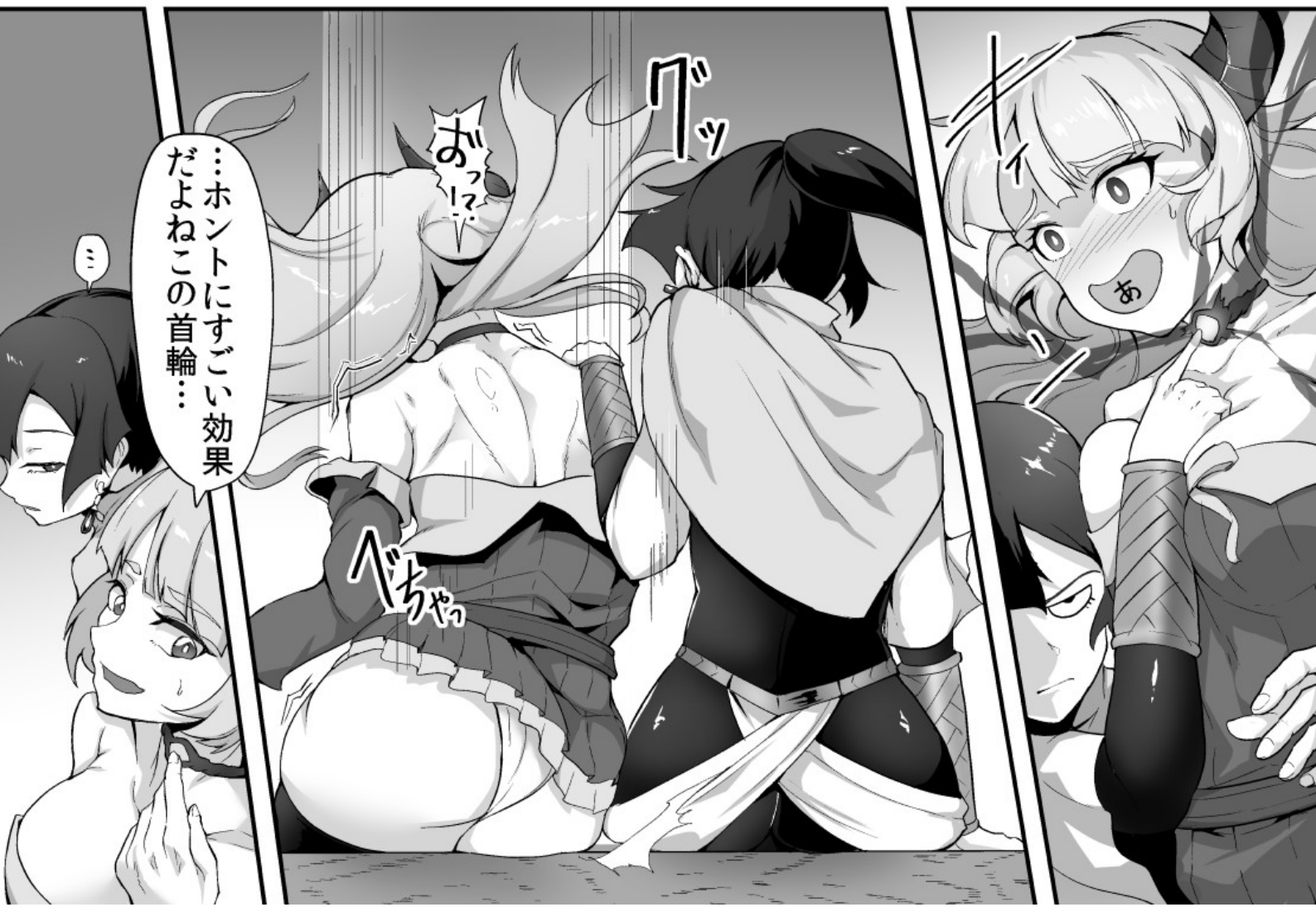
とっとにかく今だっ!!
フーッ
フーッ
急に力が戻ってる…
どういうことなの…
その首輪の効果なんだけれど…
!?
ヌッ
お前ッ!!見てたなら助けろよ何なの!?
助けてよかったの?
私が魔力を込めた分だけ装着者を世界最弱の生き物に変える呪いなのよ
先言えッ!いやっ言ったからいい訳じゃないいッ!
…手で隠してないで服を着直したら…?
いや、その…乳首…立ってると…着れなくて…
ちょっとあっち…向いてて…引っ込めるから…
カァァ…
むにゅ
ふに
…

最近のベルマリア戦闘中に謎にボーッとするの減ったよな
それでその2人は？
今日は街外れに出たワーウルフの討伐だったか…
何でもいいけど解決するならいいことだよ
シャンテぇ！助けてぇ！これホントにダメだって！食べられちゃう！食べられちゃうからぁ!!
あっあ…
殺さないで…
精子ッ精子いっぱい出していいから…
もっと気持ちよくするから…ね…？

あ
ギシッ
ダメっ
ガブ
ビクッ
ビグッ
ビュ～～
ドクッ
ドグッ
ギュウウッ
キィン…
ゴポッ
!?
ヴイッ
はぁ…

「シャンテ助けて」はもう禁句にしない？
ホントに助けるか迷うのよ
ハア
ハア
いやっ…あの…ていうかもう終わりにする…
やっぱこんなの頭おかしいって…
……何その顔…終わりだって！絶対終わり！
ねえそれどういう表情!?
えー…今回我々のギルドが初のドラゴン討伐に成功したのも
乾杯ぃ!!
ヒュー!!
イェーイ
おいバカ！乾杯の音頭ぐらい俺にやらせろ!!
万全状態のベルマリアってすごい強かったんだな…
てか団長なにかしてたっけ？
いやだってドラゴンに致命傷与えたの大体ベルマリアだよ
したろ！色々…色々!!
ハハハ…

あっ♥
シャンテ～
ドシッ
あっ
はっ
はっ
はっ
はっ
ガハハハハ
一人で飲んでても
つまんないじゃん！
友達私しかいないの？
飲んでるぅ？
逆におっぱい
飲む？逆って！
ギャハハッ
ぶに
ぶに
いいよ…
シャンテなら
なんって！えへ♥


あ
イ
ー
ー
グッ
おっ!?
ぐちゃっ
ミ
…ホントにすごい効果
だよねこの首輪…

ぷるんっ
はぇ？
ベルマリア
最近はドラゴン討伐の
準備で忙しかったものね
シュルッ
ガバッ
ちょこっ
少しは「解消」した
方がいいんじゃない
ヴィッ
待ってシャンテ
これはシャレに
なってない…
貴女…
毎回盛り上がって
くると「助けて」って
叫んでるけどね…

あれ本当に気分悪いからやめて
服が…や…
パチンッ
仲間を魔物にわざと襲わせてるのよ？
万が一が起こらない予防ぐらいしてるに決まってるでしょ
分かった…分かったから離して…よ…
バサッ

分かったから…
ごめんんっ!?
ブルッ
ギュッ
ビクッ
お願いっ
これはシャレに
なってない…
あっ?!
見ないで…
あっ…はぅ
団長は弾いてる間は
手元しか見てないわよ
くちゅ♥
くちゅ♥
ふっ♥
くうっ♥
ぐちゅっ♥
くちゅっ♥
ギュッ
ビクッ
あっ♥

私の友人が貴女しかいないって？からかわないで
貴女にとっては私は沢山いる内の一人だものね…
ちが…私だってぇ♥
声抑えて流石にバレるわよ
プル
プル
ギッ
ビクッ
フッ♥
フッ♥
フッ♥
ギッ
ビクン
ビクン
ビクン
ビク
ビク
ぎゅるるるっ
ぐぐっ♥
ぎゅ♥
ぎゅ♥

あれ？
ベルマリアまで
酔い潰れたの？
ドキッ
コイツの肩出し服
この角度だと全裸に
見えるよな笑
下品な冗談ね
あっち行って
へいへ～い
しかしお前らいい
コンビになったよな
これからも仲良く
やってくれよ
…そうね
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクビク
グリッ
グリッ
ちょっとベルマリア
腰一回浮かせて
手挟まって
動かせない
…んっ
何でますます
押し付けるのよ
私…シャンテには
敵わないから…
もうとっくに首輪の
効果切れてるわよ！

…もう一回だけ
ごめんなさい
は？
フーッ
フーッ
首輪に魔力がこもってる間は絶対に死なない…？
呪術で編まれた首輪は効果に対して必ず代償を要求する…
術の行使者が一方的に得をするようには出来ていないの
ああ…せっかく弱らせてもその相手が無敵になったら何の意味もないってことか
その欠陥を利用して今とは別の治療計画を練っていたのよ…
それが性行為に恐怖するどころか期待して犯されに行くとは…失敗
ガタッ
はっ半分はお前のせいだと思う!!
団長…直近のギルドの躍進はベルマリアの活躍によるものよ
SMAAASH
SHOOT
DA DA DA DA
!?
受ける依頼のランクはギルド全体の実力で選ぶべきだわ

バンッ
何言ってんの！
今が稼ぎ時じゃん！
ベルマリア
貴女ね…
まあまあ
ベルマリアも
こう言ってるし…
貴女に何かあったら
今のメンバーは誰も
貴女の助けになれない
心配しすぎだよ
シャンテは
シャンテのおかげで
私今までになく
調子がいいんだ
今なら誰にも
負ける気が
しないから

強力な溶解液!?
ベルマリア…
シャンテ逃げよう！もう私達しかいない！
武器も溶かされた…

こいつは私達も逃さないつもりみたい
とにかく防護の魔術だけでも…
シャンテ危ないっ!!
ぐっ!?
溶っ
早ッ…!?

輝きよ！我らの身を纏いて護れ！
ダイヤモンドスキン
金剛鎧皮！
服が…！
ガシッ
ありがとシャンテ…
術が効いている内になんとか脱出を…
あっ!?
ベルマリア！離れないで！術が維持出来ない！

ドズズッ
くあぁっ♥
ぎゅう〜〜っ
うぐうううッ
ぎゅううっ
ブヂュッ
シャンテッ大丈夫ッ？
私はぁ…ッ慣れてるけど…
へへ…あっ
バカっ…言ってないで…絶対離さないで
ビクッ
ドブッ
んっ
溶解に耐えるので精一杯なのッ…
我慢してて…！あっ…
ドヂュッ

この化け物…
私達を中から
消化しようと…
ゼーッ
ゼーッ
シャンテ平気？
どうしよう…
このままじゃ…
ゼヒューッ
ゼヒューッ
ゲボッ
大丈夫
今きちんとしてる
何かするから
グッ

離すなって言った…！
グッ
ブル
ブル
ギュッ
グッ
バカでしょシャンテ!?この術って維持にどれだけ魔力使うの!?
私は見捨てて！一人ならなんとかなるかもだから!!
嫌よ…
嫌って何!?シャンテは魔術師でしょ!?
何でも出来る！私のことだってこれまでずっと…！
グチュッ
グチュッ
ビクッ
ビクッ
一人だけでも助かって！お願いっ!!

分かった…お言葉に甘えて一人で助かるわ
でもせめて貴女は苦しませたくない
キュッ
目を閉じてベルマリア
私を信じるなら…
少しは葛藤しなさいよ
馬鹿ね…
チュ

は？
何…してるの…
これじゃ私何もっ
シャンテ!?
ズ
ズ
ズ
ズ
首輪の効果
忘れた？
魔力を込めた時間だけ
弱体化する代わりに
絶対に死にはしない
ちょっと!?何言って
んのふざけないで!!
ありったけ込めた
から1年は保つ

これだけ凶悪な魔物…きっと誰かが討伐に来てくれる
ズガッ
ミシ
シャンテッ！自分を守っんぎぃ死んじゃうっ
ピクッ
ハァ
ブルッ
ハァ
誰も来なくてムダに苦しみを伸ばすだけかもその時は私を恨みなさい
ドロッ
…そうだ私貴女のこと嫌いだったの
おっ
プシャアッ
おっ!?
ビクッ
シャンテッ
まっへっ
ビグッ
だめぇっ
魔物に犯されて喜んでる貴女は滑稽だったわ
死んじゃうっ

ガク
ガク
ガク
ジュッジュッ
うぐぇ…
だから…
んぐっ…
ドクッ
バサッ
ドロッ
ふっう…あ
ブルッ
ブルッ
ボコッ
ゴポポッ
ズヌヌッ
ズブッ
ねばぁっ
ぐちゅっ
ぐちゃっ
じゅぶっ
もう…
だめか…

…貴女が後遺症に苛まれているのはすぐに気付いた
酷似する症例をいくつも知っていたから…
ベルマリアの様子はどうだった？
最悪…退団もありえるか…
それが滑稽でね
少しいじめてやろうかと思っただけ
彼女の退団は待ってください
私の話を聞いていただけませんか
え？いやまだそこまでの話では…
バッ
彼女の散漫さは心因性です
それだけを何とかすれば彼女はギルドの最大戦力です
私が彼女を何とかします
ベルマリアは私が治します！
落ち着けって…でもまあ治せるならありがたいよ
本当に…それだけ
それにしてもシャンテ…

ベルマリアのことだと本当によく喋るよな
!?
ぶっ
ぐっ
ギチ
ギチ
ブブブぉぉぉ!!
シャンテッ!!

嫌いなんて嘘ッ！
そんな人を命懸けで
助けるわけ無いッ!!
ギュウゥゥ
ホ
嫌ぁぁあ!!
馬鹿ね…首輪の
呪いに抗うなんて…
ズルウゥゥ
ピクン
さいご…くらい
しずかに…してよ
そういうところも
…きらい…
ピクン
プシィッ
ゴポッ
トロ
チャプッ
ピクン
嘘ッ！私は好きよ
シャンテのこと！
言って！

ドプッ
私は鉄槌のベルマリア！
力なら誰にも負けないッ!!
重荷なんて無いッ！
ドロッ
こんな時まで気い使うなぁ!!
それぐらい持たせて

あ
あのっ
ごめん
やっぱり
好き
かもっ

ボチャッ
あっあ…
なんだよぉ…「かも」って…
嫌だぁ!!
離してぇぇ!!!
ズパァ
あっ!?
ズズッ
待って！そこにシャンテがっ
お願いっせめてここにいさせて…

ズルルルル
チッポン
ビクッ
そんなっ…
飲み込まれて…
ビクッ
ぐちっ
ぐちっ
シャンテは
私を庇って
死んだのに
この化物は私を
殺すつもりで
飲み込んだのに
あっあっ
止まらな…
お尻っ
そこ違うぅ
ズルルッ
ぬぢぢっ
私一人だけ
頭がおかしい
ズブブ
ブブ

私一人だけが粘膜を擦られて快楽に敗けてる
ひぎゃあ!?
メリッ
ズリッ
ズメッ
ズリッ
私だけバカじゃんそんなの…!
メブッ
おっ
ごぶっ
メブゴッ
惨めだよ…
ぶゅっ
やだ…もう気持ちいいの嫌だ…
ズブッ
ズブッ

あっ!?
駄目っ
何でっ
乳首関係
ないよっ!?
ボチッ
プルンッ♥
ぷるっ
なぷっ
ビクッ
ブルブルッ
ブーえっ!?
グボッ
はいらないからぁっ
ビビッ
きゅうぅっ
んぐぅっ
ビビッ

助けて…
ほぎゃ!?
ビクッ
ズズッ
ズズッ
ビクッ
あー…
ぐぶっ
ぎゅ
あぁ…
ガク
ガク
ガク
そこ違うぅ…
乳首壊れちゃうからぁ…
ボコッ
ボゴッ
ぐぼっ
ぐぼっ
ずちゅっ
助けて……
へぶ…
あぇ
くちょっ

シャンテ
助けて…
グルッ
ズギャッ
ビクッ
ビクッ
ぐぽっ
ビちゃ
ビちゅっ
ビちちっ
ブルルッ
ビっ
おっ
ガク ガク

今度は本当なの！
本当に怖いの！
ビクッ
ドゴォッ
こんな所に
一人にしないで！

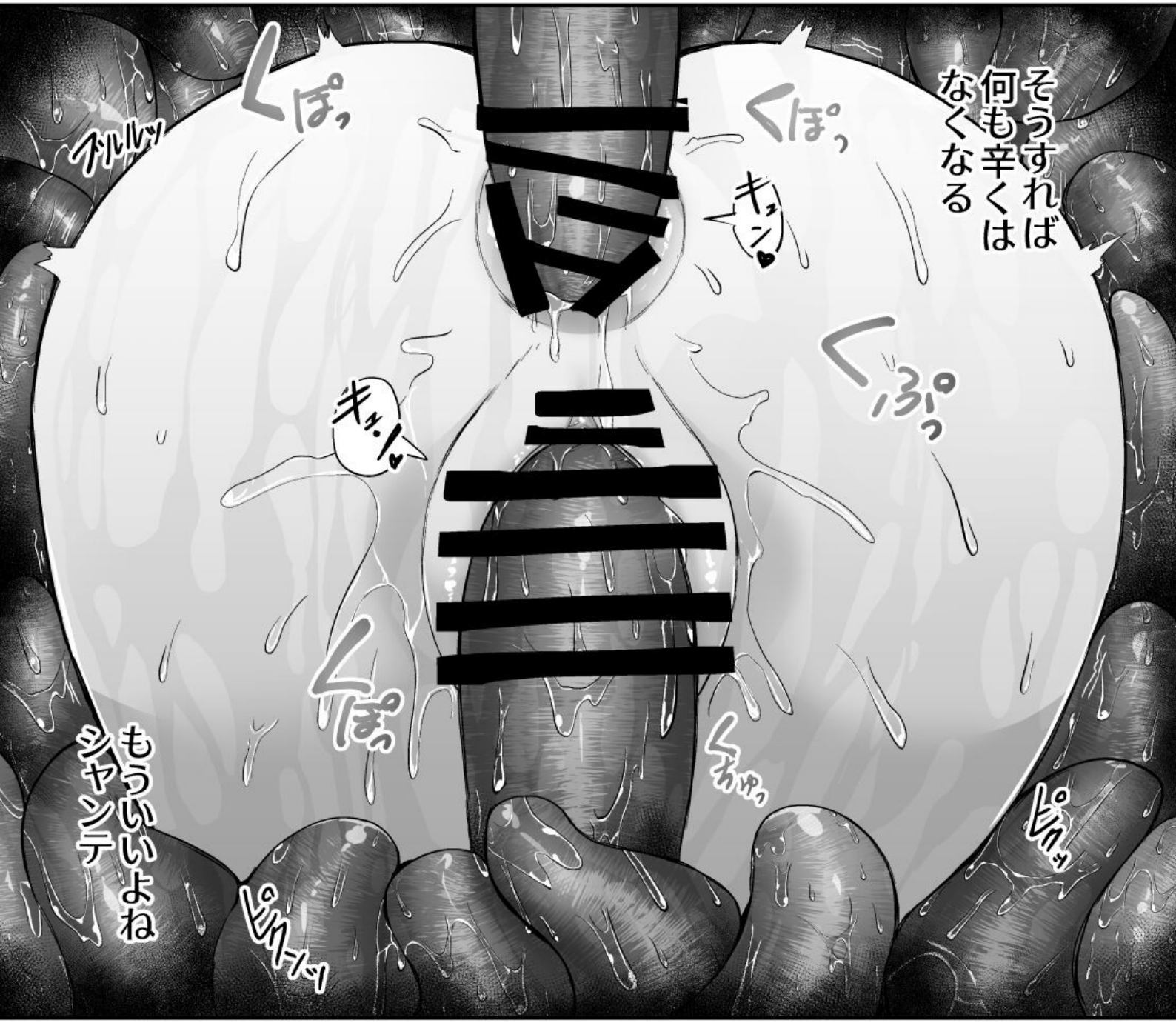
ジャンプ!!
ドゴッ!!
助けてぇぇぇ!!?
ビビッ
ビビッ
グルッ
ズルッ
ゴボッ
ぁぁっ

飲み込まれてからどれ程の時間が経ったのだろう…
私が出来ることと言えば快楽に悶えてビクビクと身体を震わせるだけ…
グイッ
あぅ…
それでも…時折少しだけ責めが軽くなった時だけ私は正気でいられた
その時間で私はようやくシャンテとの会話を思い出すことが出来た
にゅぷっ
んっ
ビクン

その日は珍しくシャンテが深酒して口を滑らせていた
レアだ
たまたま同じ依頼を受けて私のギルドと協力したその帰り…
ビクリ
「魔術師ウチにいないから困ってたんだ！このまま入団しなよ」
「団長もいいよね！決定！よろしく！」
それがシャンテにはとても嬉しかったらしく
私は思わず「そんなことで？」と言ってしまったが

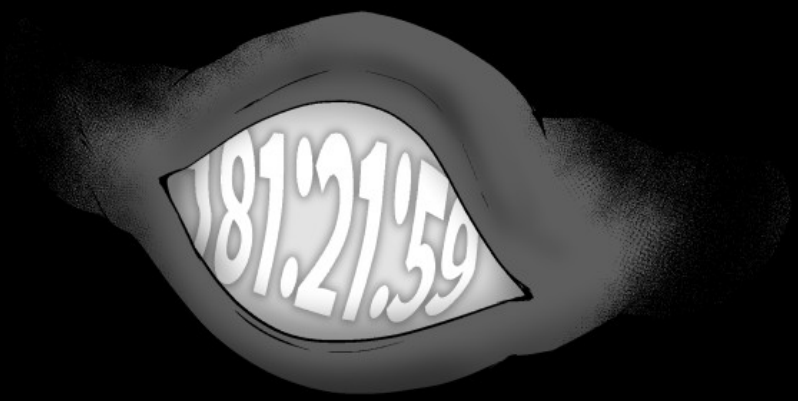
「そんなことで。」
ひげついてるよ？
やっと思い出した
ミャンミャン
でもきっとすぐに忘れちゃう
どし
やっぱ!?
ズンッ
おっ♥おしりっ入ってるのぉ？
ビクッ
やだっ♥
おしりやだよぉ♥
もう心が持たないんだ
くぱっ
ピクッ
ハァ
ハァ
あっ♥

もういいよね…？
来るか分からない
助けを待って
いつまでも
耐えらえない
毎日気持ちよく
されちゃって…
とっくに身体は
屈してるの…
もう諦めよう
ハッ
ハッ
ハッ


そうすれば
何も辛くは
なくなる
くぽっ
くぽっ
ブルッ
キュン♥
くぽっ
キュン♥
くぽっ
くちゃっ
ピクッ
ピクン♥
もういいよね
シャンテ

ぐちゃっ
ぐちゃっ
ぐちゃっ
ぐちゃっ
…もう少し
もう少しだけ
我慢するから
ビクッ
ビクッ
ぐぐぐ〜っ
ぐすっ

もう少しだけ…
もう少しだけ
頑張ったら…



END

鉄槌の女戦士
魔物に負ける妄想をこじらせ
死ぬより酷い目にあう